

株式会社アールシーコア 2025年3月期 決算説明会

2025年5月22日



証券コード7837

目次

1. 2025年3月期 連結決算概要 (p.3)
2. 2026年3月期 連結業績予想と取り組み (p.7)
3. 今後に向けて (p.16)

- 
1. 2025年3月期 連結決算概要
 2. 2026年3月期 連結業績予想と取り組み
 3. 今後に向けて

2025年3月期 連結決算概要 (損益)

区分	24年3月期	25年3月期		前期比
	通期実績	11/14公表値	通期実績	
契約棟数 (棟)	438棟	460棟	496棟	113%
契約高	10,043	12,300	12,569	125%
契約残高	7,062	—	9,114	129%

売上高	12,142	11,100	10,990	91%
売上総利益	3,274	3,245	3,074	94%
(利益率)	27.0%	29.2%	28.0%	+1.0pt
販管費	3,771	3,645	3,566	95%
営業利益	▲496	▲400	▲491	+4
(利益率)	▲4.1%	▲3.6%	▲4.5%	▲0.4pt
経常利益	▲504	▲390	▲384	+120
親会社株主に 帰属する純利益	2,121	▲420	▲530	-2,652

(単位：百万円)

■契約

契約高は、新築戸建・特建事業ともに伸長し、契約残高は前期末比129%。

■売上

前期末の契約残高減少及び当期上期の契約高不足に伴い、売上高が減少し、修正公表値並みの着地。

■利益

売上高減少に伴い、売上総利益は若干の減少。一方、資材や物流費の高騰などによる原価上昇も落ち着き、きめ細かな価格改定により、粗利率は回復傾向。決算処理にて販売用不動産の評価減を行ったことなどから、営業利益は修正公表値を少し下回る着地。

前期は代官山資産売却による特別利益計上により純利益21億円となったが、当期は、減損損失計上(1.4億)もあり純損失5.3億円。

已む無く無配を継続。

2025年3月期 連結決算概要（財務）

区分		23/3末	24/3末	25/3末	増減額
資 産	現金/預金	3,199	4,086	3,107	▲978
	売掛金等※1	980	928	794	▲134
	その他流動資産	1,457	673	1,046	+372
	土地	3,165	821	798	▲22
	建物及び構築物等※2	901	300	173	▲126
	その他固定資産	1,490	1,074	563	▲511
	資産合計	11,195	7,884	6,485	▲1,399

負 債	有利子負債	5,406	988	818	▲170
	その他	4,907	3,926	3,269	▲656
	負債合計	10,313	4,915	4,088	▲827
純資産		881	2,969	2,396	▲572
自己資本比率		7.9%	37.7%	37.0%	▲0.7pt
負債・純資産合計		11,195	7,884	6,485	▲1,399

※1 売掛金等：売掛金+完成工事未収入金
 ※2 土地を除く有形固定資産計

(単位：百万円)

区分	24/3期	25/3期
営業CF	▲269	▲870
投資CF	5,657	67
財務CF	▲4,537	▲129
現金等の増減	886	▲978
現金等残高	4,086	3,107

(単位：百万円)

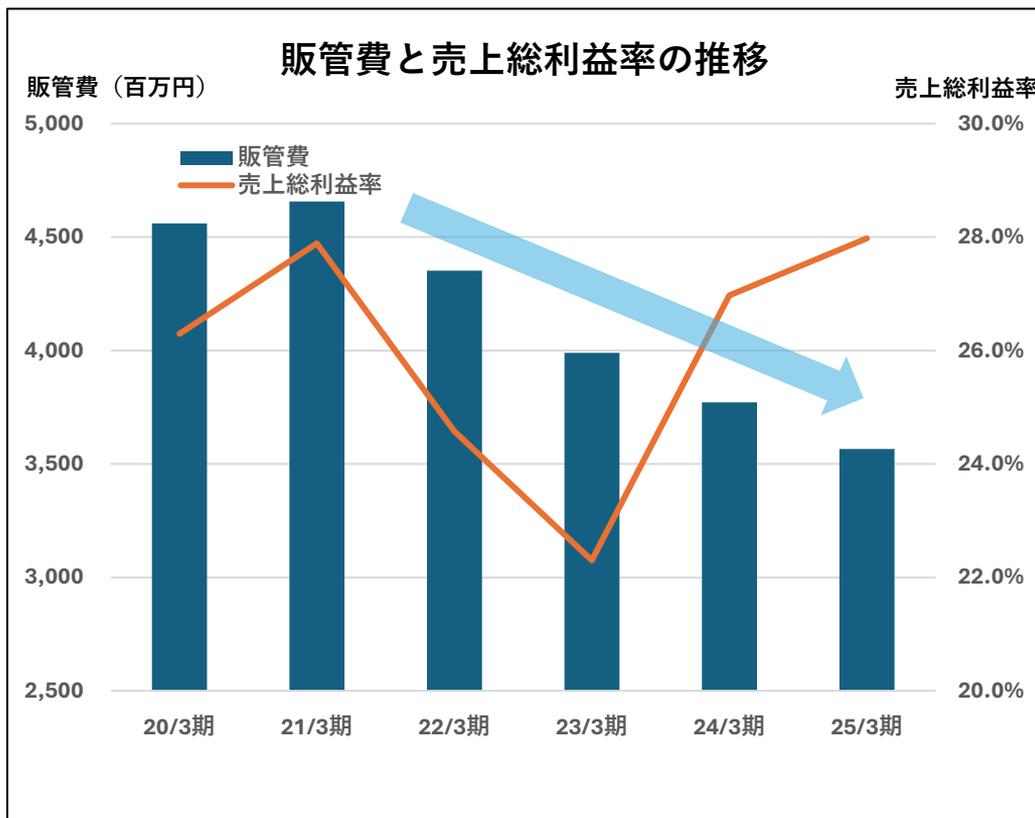
■財務の状況

法人税支払(6.8億)、借入金返済の進捗(1.2億)などにより、キャッシュフローは9.8億円のマイナスとなり、25/3月末の現金等残高は31億円。

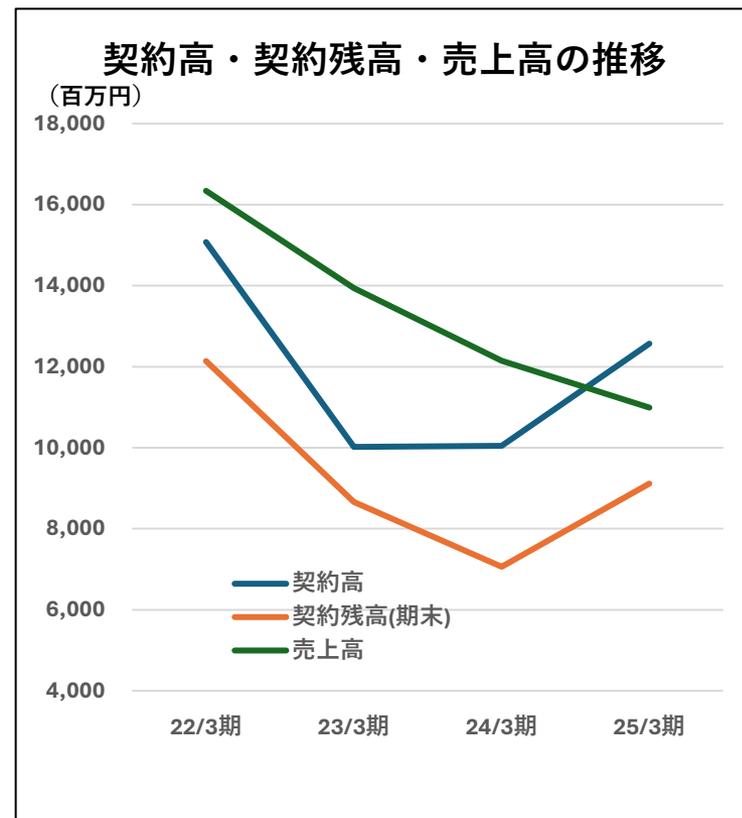
上記に伴う負債減少と固定資産の減損により資産/負債は圧縮。自己資本比率は37%。

代官山資産譲渡代金の最終時金(3.5億)が2025年5月に入金済。

2025年3月期 連結決算概要



販管費削減（21年3月期比77% ▲10.9億円）
および売上総利益率の回復により、収益構造
は改善。



契約高・契約残高の増加に伴い、
売上高も回復へ。

- 
1. 2025年3月期 連結決算概要
 2. 2026年3月期 連結業績予想と取り組み
 3. 今後に向けて

2026年3月期 連結業績予想

区分	25年3月期	26年3月期	
	通期実績	予想	前期比
契約棟数（棟）	496棟	520棟	104%
契約高	12,569	12,350	98%
契約残高	9,114	-	-

売上高	10,990	12,350	112%
売上総利益	3,074	3,760	122%
（利益率）	28.0%	30.4%	+2.4pt
販管費	3,566	3,730	105%
営業利益	▲491	30	+521
（利益率）	▲4.5%	0.2%	+4.7pt
経常利益	▲384	30	+414
親会社株主に 帰属する純利益	▲530	20	+550

（単位：百万円）

■契約

代官山拠点閉鎖の影響により、契約棟数は微増ながら、契約単価が若干低下する見込み。

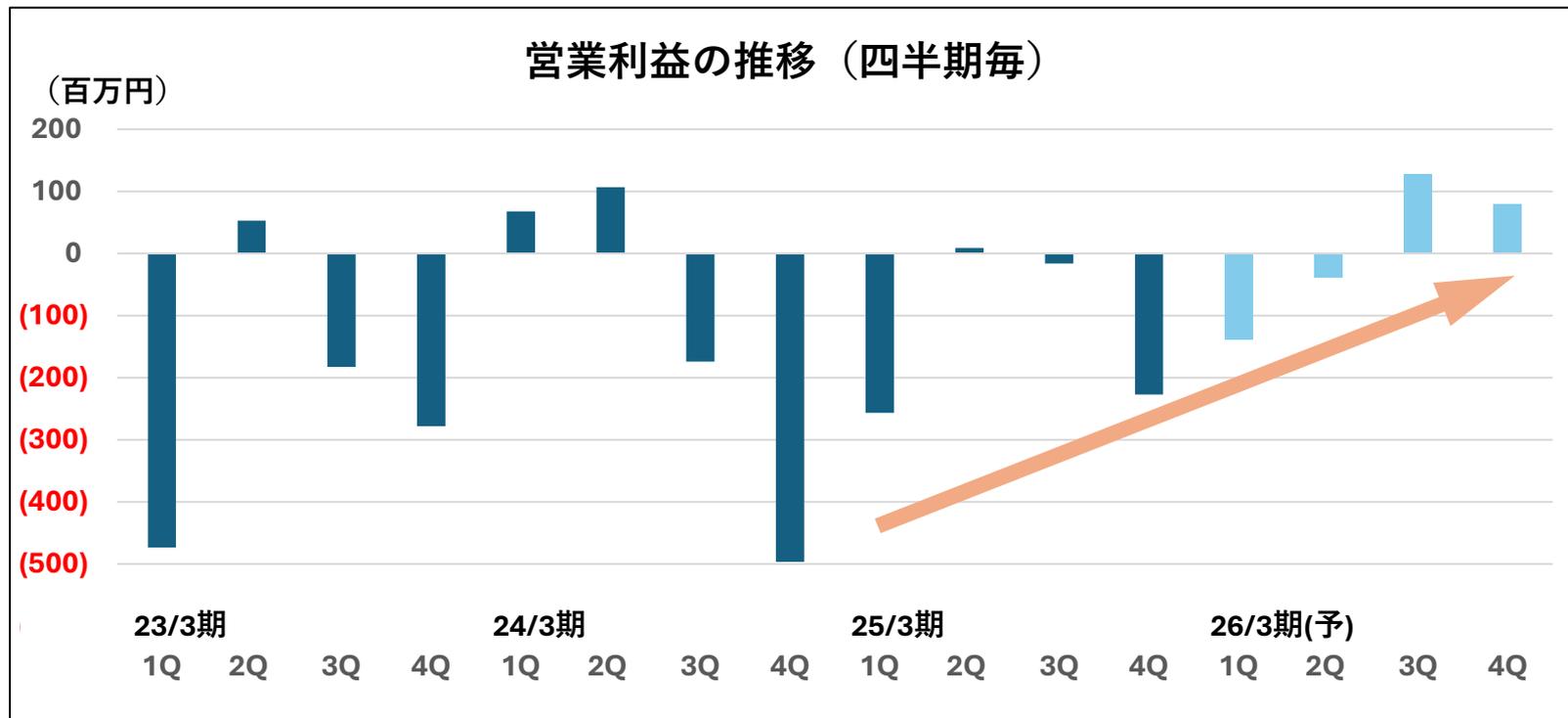
■売上・利益

期初契約残高の増加により、売上高・売上総利益が伸長。新築戸建の利益率は維持しつつ、その他事業の伸長により、売上総利益率をさらに高める。

将来成長に向けた投資（人件費など）を行いつつも、通期黒字を確保。

当面、大規模投資の計画はなく、現預金は現水準を維持する見込み。

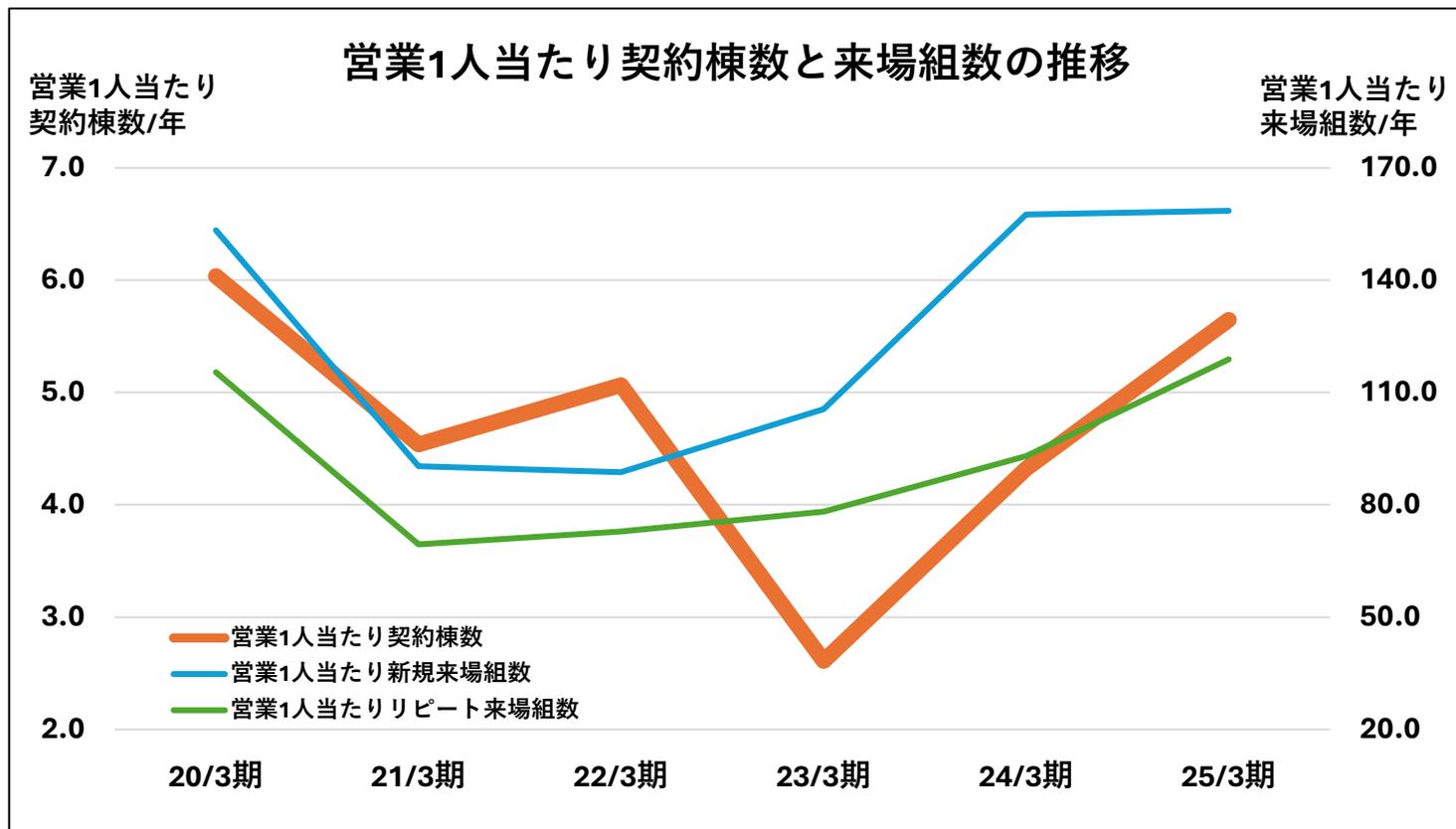
2026年3月期 連結業績予想



3月の契約増・引渡増の反動で1Qの進捗は遅れる見込み。

売上は受注の半年～1年後に発現。期初契約残高の増加を受けて3Q以降に黒字化へ。

営業面の取り組み



1人当たりの集客・契約棟数はコロナ禍前の水準に回復。課題である体制を増やす環境は整ってきた。
BESSの強みであるリピート来場を増やす農耕型営業（ファン化）に注力。
研修制度の充実・報酬体系の見直し・営業フローの再整備などを行い、営業力強化へ。

営業面の取り組み



2025年4月 **BESS木更津を直販拠点として再オープン。**

千葉県マーケットの開拓とともに、宿泊事業等の試験的な取り組みを検討。

商品面の取り組み



平小屋の進化型

栖ログ特別モデル「M50s」販売好調。

アクティブシニアに好評。

商品面の取り組み



2025年4月 三角WONDER「間貫けのハコ」新外装発売。
今後も引き続き**新たな商品開発に注力。**

特建事業（BtoB）の取り組み



(小淵沢)



(留寿都)

リゾート案件を中心に特建の契約は伸長。引き合い多数も対応力不足。
体制強化を図りつつ、**リゾートや賃貸住宅**等での企画型商品を準備中。

地域との取り組み

山とつながる・地域とつながるプロジェクト

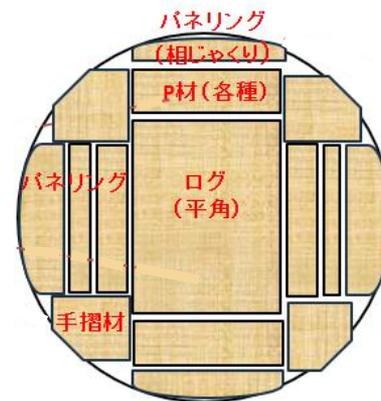
●顔の見えるサプライチェーン構築

人とつながる、安定調達、全国3エリアで連携（栃木・愛知・大分）



●山の課題×BESSの強み⇒新たな価値の共創

例) 原木の歩留まりを考えた部材設計⇒大径材の有効活用（価値向上）



地域の魅力×BESSの取り組み⇒地域活性化

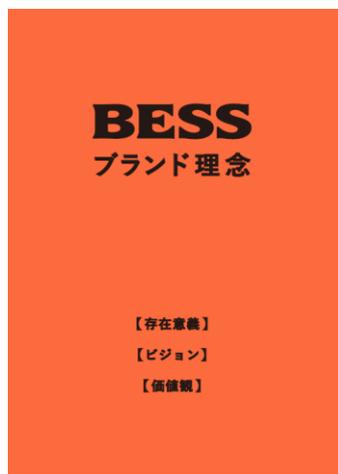
行政との連携で新たな展開へ

- 
1. 2025年3月期 連結決算概要
 2. 2026年3月期 連結業績予想と取り組み
 3. 今後に向けて

今後に向けて

創業40年 第2創業期にあたり

ブランド理念を再構築



【存在意義】

人間へ
BESS

人間、もっとおもしろく。

人間、もっと自然に。

人間、もっと人間へ。

【ビジョン】

劇的感動

感動を生み、

感動でつながり、

感動が文化になる。

今後に向けて

創業精神を受け継ぎ
持続可能な成長の仕組みをつくる

今後も 「Make Market」
新しい経営へ

ありがとうございました。

株式会社アールシーコア

[免責事項] 当資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性を内包するものです。経済情勢や市場動向、経営環境の変化などにより、予想と異なる可能性があることにご留意ください。また、当資料の内容については細心の注意を払っておりますが、当資料に関するすべての事項について、新規性、正確性、有用性、特定目的への適合性、機能性、安全性に関し、一切の保証をいたしかねますのでご了解ください。当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。